

NEWS LETTER



NO.19 2004.10.1

発行：にほんごひろば岡本（甲山国際文科学館内）
〒658 - 0003 神戸市東灘区本山北町 3 - 2 - 10

☎078 - 453 - 5931

<http://www.kabto-yama.ac.jp/hiroba/>

にほんごひろば岡本

音 楽に合わせて運動会の練習をする子供たちの元気な声が聞こえてきます。厳しい残暑に季節を忘れかけていましたが、はや 10月となりました。恒例のパーベキューパーティー、ステップアップ講座、日本語スピーチ大会、クリスマスパーティと行事がめじろ押しの季節です。そろそろエンジンをかけて全力で活動開始しなければと、怠惰な自分にはっぱをかけているところです。

この春以来、ひろばの支援者には大きな動きがありました。折り紙の指導などで大活躍されていた嶋内さんはフィリピンで、乙名さんは中国の青島で、別所さんは北京で、米倉さんはタイでと、ひろばの仲間たちが日本をとびだしてそれぞれ新しい世界にチャレンジしています。彼らの活躍に期待するとともに、ひろばがその良き故郷であるように頑張っていきたいと思っています。

最近、ひろばにはベトナム人の学習者が増えています。先輩格のキエムさん、タンさん、チャンさん、ラム君一家、ピンさん、バオさん、ビットさん、チュンさんです。それぞれの課題と熱心に取り組む姿、それを応援する支援者の真摯な姿勢に感動しています。

「にほんごひろば岡本」は、この 11月で満 5 年を迎えます。ここまで支えてくださった多くの方々に厚くお礼を申しあげます。設立の原点に立ち返って、今後の方向性を皆さんとともに考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申しあげます。（西村佳子 にしむら よしこ）



CONTENTS

夏のレポート	発音クリニック.....2	七夕会.....3
学習者紹介	ラムくん.....4	李 友福さん.....4
支援者紹介	橋本正憲さん.....5	岡本由美さん.....5
みんなのひろば	嶋内さんのマニラ便り.....6	
お知らせ	BBQ パーティー・ステップアップ講座.....8	

夏のレポート

暑かった夏もようやく終わり、もうそこまで秋がやってきています。秋に追い越されないように、いそいで、この夏のレポートをしましょう。

みなさんのご協力のおかげで、2つのワークショップを開くことが出来ました。

NEWS LETTER No18でお知らせしましたように、今年は、従来のワークショップを支援者と学習者のためのワークショップに変えるという試みがなされました。

その1「発音クリニック」2004年6月12日

支援者と学習者の両方を対象にした「発音クリニック」。韓国の学生さんたちがどうして「監獄（韓国のつもり）から来ました」と言ってしまうのか、学習者も支援者もともに楽しく発音の仕組みを学び体験するワークショップです。



総勢42名の参加で、会場は机やイスを増やすほど満員状態でした。山縣先生の楽しいご指導でみんな何度も声を出し、お互いの発話を耳をすまして聞き、少しでも正確な発音になるよう頑張っていました。

先生のお話の中に、とても意味のある言葉がありました。

個々の発音も大切だが、まずは「聞き手にわかりやすく話せること」が目標である。具体的には、母語の特徴を知って正す。ただしあまり神経質にならず、意味が通じればまず、よしとする。重箱の隅をつつくような、単音重視の指導に陥らないように。同じ国でもいろいろな発音をする学習者はいる。また、一人の学習者でも語によっては変化が起こったり起こらなかったりする。言葉はコミュニケーションの手段として、音声を誤解することなく使用する能力を身につけることが大切。さらに、言葉を正確に伝えるだけでなく、意図や態度や性格などについても相手に誤った情報や印象を与えないようにすることが大切。発音指導と並行してアクセントやイントネーションやリズムも取り入れて指導する。

こんな点に気をつけながら、楽しく発音の指導をおこなってください。

今回のワークショップに参加していた学習者の金さんがこんな質問をしました。「私はおすし屋さんに行っていることがありません。それは、私が『すみません、なまえび ください』と言うと必ず『あまえび』がでてくるんです。私は『なまえび』が欲しいんです。」



参加者はみんな笑っていました。日本人は一般的にはえびは「オイルされているえび」を「えび」と理解し、「なまえび」は「車えび」とか「おどり」とか言いますね。その感覚で相手の言葉を聞き取りますから「あまえび」と思い込むんでしょうね。さて、山縣先生の解決方法はこうです。「では、今度から「なまえび」を注文する時は「なまのえび」と言いましょう」お見事でした。正確に発音

することだけでなく相手に誤解のない情報を伝えることが大切です。余談になりますが、その金さん、とてもきれいな日本語を話されます。支援者の一人が、どんな勉強をしたのか訊ねました。すると彼は「わたしはさんま（明石家さんまさん）やたけし（北野たけしさん）が大好きです。かれらのVTRを何度もみて勉強しました。寝る時はテープにとって聞いていました」と話してくれましたよ。

皆さん、むずかしく考えないで、自分に合った方法でがんばりましょう。



その2 ^{たなばたかい}七夕会 ^{ねん がつ か}2004年7月3日

ひろばオープンハウスとして七夕の行事をおこないました。

これは<「言葉」は国境を越えられないが、「仕掛け」は国境を越える>という体験学習です。「日本語を一方向的に教える 習う」といういつもの関係ではなく、ともに作業することでいつのまにか日本語

のことなど忘れてしまう…つまり言葉の壁を乗り越えていることに気がつく…というワークショップの試みです。

仕掛けは以下のようなものを準備しました。

七夕飾りを折り紙でつくる。七夕飾りの短冊に筆で字を書く(習字)。

浴衣を着てみる。お抹茶をいただく。

まず、折り紙は、言葉をかみやすよりも共に作業をしました。見よう見まねで何かが出来るようになることは、共に喜び合いました。



次に短冊に願い事を書く前に、墨と筆で字を練習です。紙に習った字を書く姿は学習よりも真剣で、姿勢良く、すごい集中力でしたよ。

短冊に書かれた願い事は、現実的なものが多く、神頼みは世界中不変のものですね。

さて、女性陣はど

の浴衣を着ようかなと、目を輝かせていました。支援者の古瀬さんの大奮闘で、どんどん素敵なお日本女性」ができました。やはり、アジア人ですね。みなさんとってもよく似合っていました。男性陣は最初はしり込みをしていますが、Tシャツに短パンの上に重ね着をして、「気持ちいい」を連発して、シャッターを切り合っていました。帯を腰で結ぶことは自国の衣習慣にないようで、認識を新たにしようですよ。



お抹茶をいただくコーナーは、日常なかなか体験することができないことも手伝ってか、大繁盛でした。学習者の人たちは、初めての人が多く、「おいしいですか?」の返事は、少し考えてから「はい、大丈夫です」「初めての味です」「日本風カプチーノですね」等々。



お抹茶をいただく前に、隣の人に挨拶をして、お菓子をいただく。それから、お抹茶をいただく、その時も隣の人に挨拶をする。なかなか大変そうです。「お菓子を先に食べると、お茶がおいしいですね」作法の順序を体得して納得できたようです。お茶を飲むことはともかく、お菓子の取り方、お茶の頂き方、お抹茶の立て方、などの作法にとっても興味があるようで、覚えてたの作法を早速、支援者に教えてあげている姿がほほえましくて、異文化の体験学習、ひとまず成功かなと、安堵しました。次回は学習者の国の文化を体験学習してみたいですね。(吉田加代子)

がくしゅうしゃしょうかい
学習者紹介

ファミゴッパオラムくん

(男児・ベトナム出身)

将来はベトナムのプレーンに

ラム君は卓球とコンピューターゲームが好きな11歳の男の子です。去年の10月に両親とベトナムからやってきました。お母さん(写真左下)は神戸大学農学部の留学生ですが、ひろばで木本さんと勉強しています。



初めて会った時よりも、このひと夏でずいぶん背丈が伸び、たのし

くなったように思います。

日本語をもっとよく分かりたい、日本語能力検定の1級ライセンスを取りたいと、その学習態度は真剣そのものです。長く日本語を使っている私でさえも考えてしまうような問題に一生懸命に取り組んでいます。また、ラム君は自分でつくった問題をよく私に出してくれま。日本語学習のときと同じように(もしかしたらそれ以上に)目をキラキラさせて先生役を楽しんでいるようです。ラム君の出す問題は数字を使ったものが多いのですが、パズルのようになっているので、なかなか難しいんですよ。

ベトナムの学校のこと、先生のこと、住んでいた家の話やおじさんの結婚式のこと、弓矢の作り方や大切にしていたネコのことなど楽しそうに話してくれます。ベトナムのことを話すときのラム君はにこにこしていて、自分の国が本当に好きだということが伝わってきます。

ロボットコンテストに垣間見るベトナム。将来、ベトナムのプレーンとなって次代を担ってくださうラム君。そんな彼にとって、このひろばでの学習が少しでも役立ってくれたらと願っています。

(山本温子)

李友福(リュウフク)さん

(男性 中国出身)

テキストは

「日本経済

新聞」

昨年(しんぶん)のクリスマス会でのスピーチ大会。



「ルミナリエ」をテーマに、来日間もない彼が一所懸命に話してくれた姿が印象的だった。その彼を今年の7月から学習支援することになった。

彼は、昨年来日し、現在はコンピュータソフトの会社に勤務している。大変思いやりのある好青年である。

学習は「フリートーク」が希望だったが、テキストがあった方が効果的なので、どうするか迷った。

読書が趣味でいつも文庫本(マンガではない)を携帯している彼の能力ならばと「日経の経済・国際関連記事」を抜粋して使うことにした。さすがに漢字は500字以上読めるので本来の中国から日本へ導入、逆に中国への移入、両国で意味の異なるもの等々漢字遊びをしている。

中国は日本のように野球が盛んではなく、ルールがよく分からないとのことで、彼と一緒に8月7日ヤフーBB球場のオリックス対ダイエーのナイター



を観戦した。10年ぶりの球場は天然芝の緑が鮮やかでとても見やすく大リーグの球場かと思えるほどだった。

結果はいつも通りオリックスの大敗だったが、合間の子供たちを動員したゆかた姿のおどり大会、花火の打ち上げショー等のアトラクションもあり球場側の旺盛なサービス精神には感心した。

さて、野球のルールは試合中にその都度メモをし

て説明したので大体理解できたようだが、ただひとつ難しい質問があった。

「打者が一度もバットを振らないのに、何故三振ですか？」

これには、参った参った！！

皆さん、どう答えますか？ (黒岩元晴)

支援者紹介

橋本 正憲 さ



「わかりました」が一番嬉しい

同じ日本語教師養成講座の

学校に在籍していた少し先輩の渡辺映子さんから「にほんごひろば岡本」を紹介していただき、この9月で1年がたちました。

日本語を本格的に勉強しようと思ったきっかけは、我が家にホームステイした外国人の人たちに日本語を正しく説明出来なかったことに端を発しています。我が家のゲストは国籍に関係なく全員英語が話せます、中には日本語を流暢に話す人もいて「本音と建前」が十分理解できる人もいたぐらいです。でも上級になればなるほど質問も高度になり、その意味を彼らに納得させるように教えるのは大変難しいものでした、特に謙譲語・尊敬語・擬音語など外国人に理解しにくい、そして説明しにくい日本語もあり、私は専門学校で日本語を一旦勉強することにしました。

今、二人の学習者を担当しています。

ベトナム人の男性キエムさんと中国人の女の子カイエイ海英ちゃんです。キエムさんは中級、海英ちゃんは初級とレベルは違いますが二人共とても勉強熱心です。私も彼らが理解しやすいような例文やメモソッドなどを考え、理解度を宿題やクイズ(小テスト)で確認しています。彼らから「わかりました」

と言われたときが一番嬉しいです。私自身もまだまだ完璧ではありませんが、少しでも彼らの役に立てればと考えています。

これからも「にほんごひろば岡本」を通じてたくさんの方の人と一緒に日本語を勉強していきたいと思っています。

日本語を勉強したい外国人の方々のお手伝いが出来ればと考えています、まだまだ西村さんには十分お応えしていませんがこれからも足手まといにならないようにがんばりたいと思います。

岡本由美さん

卒業後は北京へ

私は、約1年半このにほんご広場でお世話になっています。

大学で日本語教育について勉強している私は、それを生かせ

ればと思い、ひろばへ来たのですが、実際は教えるというよりも学ぶことの方が多く、毎回、私が学習者のような気持ちでひろばに通っています。日本語を教えるということの難しさや楽しさを毎回のよう実感し続けて1年半…。私自身、成長できているのかとても不安です。

現在、中国出身の趙さんと一緒に楽しく学習しています。趙さんは私よりも「ひろば歴」が長く、私のわかりにくい説明でも、やさしく理解してくれて本当に助かっています。まるで私の「お姉さん」のような(でも本当に2人で並んで歩いていると姉妹と間違えられることも多いんですよ!) 趙さんは、温かく、いつも楽しいお話をしてくれて、中国についても私の知らなかったことをたくさん教わりました。

最近の趙さんとの話題は、私の来年3月の大学卒業のことが多くなりました。ひろばと、そして趙さんとお別れすることを考えると今から寂しくなりますが、まだまだ数ヵ月先のことなので今は考え



ず^{たの}に^す楽しく^{おも}過ご^{わたし}そうと思^はっています。また^は私^はは卒業^{そつぎょうご}後、日本^{にほん}語^ご教師^{きょうし}の^{ティーチング}アシスタント^{アシスタント}として^{ペキン}北京^{へい}へ行く^{いき}ことが^き決^ままっているので、ここでの^{けいけん}経験^{はつき}をフル^{はつき}に^{はつき}発揮^{はつき}できるように^{おも}がんば^{おも}っていき^{おも}たいと思^{おも}います。

みんなのひろば

「折^おり紙^{がみ}の嶋^{しまうち}内^ちさん」で^{かつやく}活躍^{活躍}してくださ^{しまうち}った嶋^{しまうち}内^ちさん^{さま}が、2004年^{ねん}4月^{がつ}から^{フィリピン}のマニラ^{マニラ}で^{にほんご}日本語^{しゅうしえん}学^{しゅうしえん}習^{しゅうしえん}支^{しゅうしえん}援^{しゅうしえん}を^{いそが}さ^{いそが}れて^{いそが}います。お^{いそが}忙^{いそが}しい中^{なか}を^{いそが}ひ^{いそが}る^{いそが}ばに^{いそが}近^{いそが}況^{いそが}報^{いそが}告^{いそが}を^{いそが}送^{いそが}って^{いそが}くれ^{いそが}ました。7月^{がつ}から9月^{がつ}までの^{だよ}マニラ^{だよ}便^{だよ}り^{だよ}を^{だよ}ご^{だよ}紹^{だよ}介^{だよ}し^{だよ}ます。最^{さい}後^ごに^{さい}ホ^{さい}ム^{さい}ペ^{さい}ー^{さい}ジ^{さい}ア^{さい}ド^{さい}レ^{さい}ス^{さい}等^{さい}を^{さい}載^{さい}せ^{さい}て^{さい}い^{さい}ま^{さい}すので、^ぜ是^ぜ非^ぜ一^ぜ度^ぜの^ぜぞ^ぜい^ぜて^ぜみ^ぜて^ぜく^ぜだ^ぜさい。書^かき^か込^かみ^かも^か大^{だい}歓^{だいかん}迎^{げい}だ^{だいかん}そ^{だいかん}う^{だいかん}です^{だいかん}よ。この^{こう}項^{こう}目^{もく}だ^{もく}け^{もく}、^ふ振^ふり^ふ仮^が名^な(^{ルビ}ルビ)を^がふ^がっ^がて^がい^がま^がせん^がので、^し支^し援^{しえん}者^{しえん}の^しみ^しな^しさん、^が学^{がく}習^{しゅう}者^{しや}へ^しの^し支^し援^{しえん}よ^{しえん}ろ^{しえん}しく^{しえん}お^{しえん}願^{ねが}い^{ねが}し^{ねが}ます。

7月号

みなさん、
こんにちは。
お元気で
すか。



もう、7月も10日になりましたね。(これが届くのは12日以降でしょうが)もうすぐ、マニラに来て3カ月になります。ホント、早いですね。

こちらマニラは、夏が終わり、雨季のシーズンに入りました。一日に何度もスコールを浴びています。日本の梅雨のように、長雨はないのですが、突然の雨には、しばしば悩まされています。

先日、帰りにトライシクルの後部座席に横のりしていたら、突然のスコール。ホントに、叩きつけるようにバタバタと降り出しました。ジーンズはビショ濡れ。もう諦めるしかないんです。傘を常に持っていないと、カンカン照りでも、いつ雨になるか、わからないんです。トライシクルに乗っている時は、傘も役立たずですが。

夏が終わった、といっても、日本のように四季があつて、涼しい秋に向かうわけではなく、今も暑い毎日です。夏と言われるのは、雨が降らない時期なだけなんでしょうね。また、雨季に入り、来た時にはいなかった蚊が出没するようになりました。

さて、仕事の話ですが、朝7時からのクラスが12日に終わりを迎えるのですが、5日から出張クラスと、10日から会話クラスを担当しています。今週は3コースが重なっていて、少しハードでしたが、来週から5時半起きがなくなるので、少しホッとしている、というのが本音です。出張クラスというのは、私の学校から、スムーズに乗り継いで1時間強くらいのある専門学校での日本語コースを担当しています。週に3回、3時間ずつの授業があり、日本語のコースは本科とは別の選択登録制になっています。他の授業がある学生がこちらに来るのは無理ということで、私とその学校に行くことになりました。

しかし、電車で時間通りに着く、という日本ではないので、最初、バスを乗り継ぐルートで行ったら、2時間もかかってしまいました。別ルートのジープニーの乗り継ぎで行っても、1時間強かかってしまいます。

専門学校生は、日本語を習得して、仕事に活かせるようにと、頑張ろうとしています。みんな、明るく笑顔が絶えない学生ばかりなので、毎回楽しくやっていますが、汗かきの私は、タオルを横に置き、汗を拭き拭き、頑張っています。

今度は、マニラ散策の話題へ。

この1カ月で、かなりの進歩を遂げたと思います。一人で出かけることに躊躇がなくなり、少し遠出もしています。マニラ市にあるイントラムロスというスペイン統治時代の要塞都市だったところや、中華街、一昔前ビジネス街だったキアポ周辺、ショッピングモールが多く立ち並ぶクバオヤオオーティガス、などなど。出張クラスを持っている専門学校は、マニラの東隣のリサール州にあり、そこへも一人で通っています。ただ、地図を持ってないので、そこがどの辺の位置なのか、まだわかりません。ここから、

行きに乗って終点で乗り換え、今度は まで乗って、そこから歩くという行き方を知っているだけです。まだまだ応用が利かないので、地図を買わなきゃ。(笑)それから、方位磁石も(爆)。

1カ月くらい前に高架鉄道の3番目の新路線が開通したということで、初物を使って行動しようと思っていたのに、その駅に行ったら門が閉まっていた、乗れませんでした。次の日に学校で聞いたら、日曜日は運休してるんだ、とのこと。驚きです。電車が終日運休しているなんて。鉄道は、これで3路線になりましたが、移動手段はジープニーやバスを使わないと難しいことが多いので、交通渋滞は、日常茶飯事です。

慣れてきたとはいえ、まわりからいつも気をつけるように、言われています。先日も、ジープニーやバスでは、絶対に寝ないこと。荷物、特に財布と携帯には注意すること。って言われました。そうそう、先日やっと携帯を買ったので、もっと早くに買えばよかったと、今では思うのですが。それは、さておき・・・、ポケットに入れていても、ストラップが出ていたら、スツとストラップを引っ張って、取られるから、それも気をつけるように、と。今日は今日で、いつも使っているトライシクルターミナルで、携帯にメールが入ったので、チェックしていたら、学校の秘書の人が、こんなところで携帯出したらダメ。取られちゃうよ。って。私が思っている以上に、みんな自己防衛しているんだな、と思いました。こんなことを書くと、なんて危険なんだろう、と思われちゃいますね。まわりで頻繁に起きてるわけじゃないですよ。そういうこともあるから、ということです。

ちなみに、こちらの携帯は、SIM方式でSIMカードを入れ替えるだけで、番号を替えるので、他人のを盗んで売り飛ばすことがよくあるそうです。日本のように携帯会社専用の電話ではなく、本体があればどの携帯会社のSIMでも使えるようになっています。

8・9月合併号

皆さん、こんにちは。

お元気ですか? 2カ月のご無沙汰です。ですから、8・9月合併号になってしまいました。

私は、元気にまもなく6カ月目を迎えようとしています。月日が経つのは早いですね。土曜日は午後クラスが定着してしまいそうで、結局一日つぶれています。新しいクラスには、テレビ局専属(なんてあるのか?)のタレントと称する女性もいます。テレビでは見たことないんですけどね。(笑)日本語を勉強して、日本に行きたいと思っているんでしょうね。

現在は、本校の土曜クラスと、出張の月水金のクラスを持っていますが、それ以外の仕事が多く、毎日ヘトヘト状態です。出張の日は、片道1時間半の道のりをジープニーに揺られて、通っています。

先日、日本に大きな被害をもたらした台風がフィリピンを北上していく時、フィリピンでもすごい被害だったんですよ。普通の雨でも、下水の整備が整っていないのと、道路がデコボコな為、すぐに洪水になるんですから。今、フィリピンは雨季で、ほとんど毎日雨が降っていますので、この時は特に大雨で、大洪水になりました。そんな中、出張クラスに行くジブニーに乗っていて、初めて洪水に出くわしたんです。テレビでは見たことがありましたが、これだけ水が溜まるのか、と驚きました。車高の高いジブニーだから通れる、という所もありましたが、通行止めになっている所も多く、大渋滞でした。川の水位が増して・・・、という所もありましたが、街中でも土地の低い所がまさしくプールのようになっていました(子供達が泳いでるんですから)。靴の中までビショビショになって、到着は遅れるし、こんな状況だから、ということで結局その日は、休校になりましたけどね。

こんな時に、気を付けないといけないのが、バクテリア。みんなから言われたんですが、こういう洪水の水は大変危ないんだ、と。マニラでは、平然とゴミが道端に捨てられている、という状況なので、それらが洪水にまみれているわけですから。帰ったら、すぐにアルコールで消毒するように、とのことでした。

今、新しい仕事の準備に入っていて、それもあって忙しいんですが・・・、大学での特別コースや企業が日本語コースを開講する、といった内容の仕事もしています。格好よく言うと、コンサルタント？（笑）

私の出張クラスは介護士の学校で、6月から開講しているのですが、先日、日本とフィリピンとの二国間協定で、人数など制限はありますが、看護師・介護士に対して、日本の研修ビザが出るようになる、という発表があり、早速、国際交流基金などには、問い合わせが多くなっているそうです。

こちらでは、看護師は大学のコースにあり、介護士は専門学校です。この理由だけでなく、もっと日



本語教育が盛んになればいいですね。ちなみに、8

月1日こちらの新聞記事によると、国際交流基金発表で、海外での日本語学習者数（2003年度）

- 1位 韓国 - 89万人
 - 2位 中国 - 38万8千人（回答回収率が低いため実数は相当上回る）
 - 3位 オーストラリア - 38万2千人
- 東南アジアに限れば
- 1位 インドネシア - 8万5千人
 - 2位 タイ - 5万5千人
 - 3位 ベトナム - 1万8千人（10年間で6倍）
 - 4位 マレーシア - 1万4千人（10年間で3倍）
 - 5位 シンガポール - 1万2千人
 - 6位 フィリピン - 1万1千人（10年間で2倍）
 - 7位 ミャンマー - 4千百人
 - 8位 カンボジア - 2千3百人

10年間で2倍になっているとはいえ、人口が1/20のシンガポールを下回っているのが現状・・・仕方ないかも知れませんね。日本語を習いたくても、授業料を払うお金がない人が多いですからね。

嶋内 悟さんの連絡先

Email : satoru1201@kcc.zaq.ne.jp

URL : http://www.kcc.zaq.ne.jp/shima_s-cafe/

お知らせ

その1; BBQパーティー

今年も恒例のBBQパーティーを行ないます。10月31日（日曜日）芦屋奥池遊びの広場です。夏の台風の影響で紅葉は期待できませんが、食欲の秋を楽しみましょう。ご家族、お友達を誘ってきてください。詳しくはひろばのカウンターにお知らせがあります。

その2; 日本語学習支援者ステップアップ講座

今年度も連続5回の講座を行ないます。日時は10/30,11/6,11/13,11/20,11/27（いずれも土曜日PM1:30~3:30）。教材は『みんなの日本語』28課~32課で、受講料は1回500円です。毎回一課ずつ丁寧に解説し、具体的な教え方をまじえて実習します。講師は日本語学校講師（松蔭の卒業生）などを予定しています。1回ごとの申し込みOKです。問い合わせは、にほんごひろば岡本 西村まで。

その3; 佐古田幹子さん作品展

設立時から「にほんごひろば岡本」で活動されていまして佐古田幹子さん作品展（絵画・デッサン・モノクロ写真）が11月28日（日曜日）阪急芦屋川駅の南徒歩1分の「ギャラリー藤」で開かれます。案内状はひろばに用意していますので、お問い合わせください。

【編集後記】（へんしゅうこうき）今号もマニラ便り以外はルビ（漢字にふりがなをふりました）を付けました。学習者も支援者もみんなが読んでくれれば、すごくうれしいです。中上級の学習にも使ってください。（I・M）